

全国学力・学習状況調査の結果

校長

令和7年度全国学力・学習状況調査は、小学校第6学年の全児童を対象とした悉皆方式で、教科に関する調査(国語、算数 令和7年度は理科も)と質問調査を4月17日(木)に実施しました。その結果が届きましたので、お知らせします。

平均正答率	国語	算数	理科
全国	66.8	58.0	57.1
新潟県	66	56	55
今町小学校	全国、県よりやや高い	全国と同じ、県よりやや高い	全国より低く、県より高い

<国語>

- 「話すこと・聞くこと」の正答率が高かった。
- 「選択式」「短答式」の正答の率が高く、「記述式」の問題に課題が残った。
 - ・文章の中に正解が書いてあるのではなく、内容を読み取って、選択肢の中から選ぶ問題
 - ・何字以内や資料1から○○、資料2から□□など、解答の中に条件を入れて書く問題

<算数>

- 「図形」の問題の正答率が高かった。
- 「記述式」の正答率が高く、「短答式」の問題に課題が残った。
 - ・目的に応じて適切なグラフを選択してデータの特徴や傾向を捉え判断し、理由を答える問題
 - ・二次元の表から、データの特徴や傾向を読み取る問題
 - ・示された資料から、必要な情報を選び、数量の関係を式に表す問題
 - ・「10%増量」を答え、「増量後の量」が「増量前の量」の何倍になっているかを答える問題

<理科>

- 「エネルギー」に関する問題の正答率は高かった。
- 「地球」に関する問題の正答率が低く、「記述式」にも課題が残った。
 - ・ヘチマの花のつくりや受粉について答える問題
 - ・発芽するために必要な条件について、実験の条件を制御した解決の方法を選ぶ問題
 - ・水の蒸発や結露について、温度によって水の状態が変化することから考える問題
 - ・「水は温まると体積が増える」を根拠に、海面水位の上昇した理由を記述する問題

児童質問紙からは、次のことが分かりました。

- 〈全国、県より高い〉
- ・将来の夢や目標を持ってる
 - ・学校に行くのは楽しい
 - ・友達関係に満足している
 - ・地域の大人に、授業や放課後などで勉強やスポーツ、体験活動関わってもらったり、一緒に遊んでもらったりする
 - ・地域や社会をよくするために何かしてみたい
 - ・学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方には気付いたりしている
 - ・学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができている
 - ・授業で学んだことを、次の学習や実生活に結びつけて考えたり、生かしたりすることができる
 - ・先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれている
 - ・学級で、学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めている
 - ・学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいる
 - ・健康にすごすために、授業で学習したことや保健室の先生などから教えられたことを、普段の生活に役立てている

- 〈全国、県より低い〉
- ・新聞を読んでいる
 - ・PC・タブレットなどのICT機器で文章を作成する(文字、コメントを書くなど)ことができる
 - ・国語の勉強が好き
 - ・理科の勉強が好き
 - ・理科の授業で、問題に対して答えがどのようになるのか、自分で予想(仮説)を考えている



つよく さとく やさしい子 今 小だより

令和7年 12月 10日



HP アドレス <http://www.city.mitsuke.niigata.jp/site/imasho>

さとく

校長

12月に入りました。今年ももうすぐ終わりです。2学期も学校に登校してくるのはあと9日となりました。学校では、2学期のまとめの学習をしているところです。

2学期最後の全校集会では、次のような話をしました。

今日は、今町小学校の教育目標「つよく さとく やさしい子」の「さとく」についての話です。

ひらがなですね。「さとく」の「さと」の部分の漢字は…。「敏哲叡怜慧智聰」他にもたくさんあります。いろいろなことを知っているのも「さとい」、「そのときそのときですばやく行動できる」のも「さとい」、そして、「いろいろなことに取り組み、そこから学ぶ」のも、さらに、「失敗の中から学ぶ力」「失敗から立ち直る力」も、またさといからできることだと思います。皆さんは、どうだったでしょうか。この2学期、「さとい」自分だったでしょうか。

先日行われた持久走記録会では、多くの人が走りました。順位も大切ですが、それよりも記録会に参加できしたこと、つまり、自分の体調を整えることができたことも素晴らしいことです。これからいろいろなことに挑戦する際に、体調を整える、維持するということはとっても大切です。どうすると、自分は体調良くいれるのか、自分の生活の中でこれからも学習していってください。体調をくずしてしまった人もまたいい勉強をしたと思って、次は体調を整えられるといいですね。

また、ふたばフェスティバルでは、各学年、学習したことを活かした素晴らしいお店ができていきました。1年生は、ドングリをつかっていろいろな遊びを提案していました。2年生は、生活の学習で作成したものを活用していました。3年生は、外国語や算数の学習を、4年生は理科や総合的な学習の時間の防災、5年生は国語や社会、6年生は理科や社会を活かしたものでした。それらとクイズなどを上手に合わせていたのもとっても楽しかったです。これで終わりではなく、何か他の場面で使えないかみんなで考えてみてください。

おめでとうございます

第55回見附市文芸祭

文芸祭賞(俳句) 5年生

日射しより ペンだこ熱い 夏休み

第36回新大全国硬筆大会

特選 5年生

第75回新潟県競書大会

特選 4年生

準特選 6年生

準特選 2年生

11/28(金) R7ふたばフェスティバル

昨年度は、アントレプレナーシップ教育を取り入れた店づくりをしましたが、今年度は、「アントレプレナーシップ以外にも、これまで学習してきたことに関わる出店を作る」取組を入れてのふたばフェスティバルとなりました。店づくりは、各学級・学年でしたが、それぞれの店については、ふたば班で回りました。今年度はすべての店に賞を出すというのも企画委員会が考えたことでした。

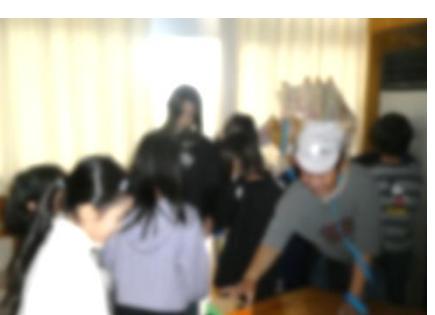
11/19(水) エンジョイタイムで、どこから回るのか、どこに集まるのかなどを決めました。



11/26(水) 児童集会で、各学級・学年が店の紹介をしました。



11/28(金) いよいよふたばフェスティバル当日です。



12/2(火)2年生 みつけ子ども大学

2年生が、見附市が新潟大学教育学部と連携して行っている大学の先生から指導を受ける授業「みつけこども大学」を受講しました。今年度も算数の授業をしていただきました。数字の書かれた大きなひし形の中から台形を見付けて敷き詰めたり、その台形の中の数字を10になるようにしたりしていました。子どもたちは試行錯誤しながら、問題に向き合っていました。また、ひし形の中の全ての数字をたす課題では、学習したばかりのかけ算を使って求めることができました。



研究授業等

2学期後半も授業の様子を今町小学校の教職員で見合う研究授業を実施したり、新潟大学附属長岡小学校の先生を指導者に招いたり、見附市内の初任者の先生方から授業を見てもらったりと、授業改善に向けた取組を行いました。3学期には今の学年で、どのくらい力が付いているのかを客観的に把握するテストも実施します。



みつけこどもビジネスアイディアコンテスト 2025

今年度の「みつけこどもビジネスアイディアコンテスト」のMISSIONは、「見附市が新潟県の「どまんなか」ということをアピールしよう」でした。今町小学校の子どもたちも応募しました。その中から、1名の受賞がありましたので、お知らせします。

○高学年部門 教育長賞

6年生

「みつけポン！ポン！あわせっけん」

